

高等学校 令和8年度 教科

国語

科目

文学国語

教科： 国語 科目： 文学国語

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： (1組： 大谷) (2組： 大谷) (3組： 大谷) (4組： 大谷) (5組： 若菜) (6組： 若菜)

使用教科書： (「文学国語」東京書籍(文国701)) (7組： 若菜)

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 文学国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数	
		読	書	話						
<p>A 単元 随筆 「雨月物語」</p> <p>【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<p>・筆者の考え方の変化を捉え、『雨月物語』が筆者にどのような影響を与えたかを考える。</p> <p>1 「物語」に対する筆者の考えに注目して、本文を通読する。 2 筆者が「子供向けに書かれた本」をどのように感じていたかを読み取る。 3 『雨月物語』や『怪談』がどのような作品か確認し、筆者が『雨月物語』や『怪談』を好んで読んでいた理由を考える。 4 筆者が『雨月物語』の「浅茅が宿」からどのようなことを考えたかを読み取る。 5 筆者がどのようなことを「これ以上ない希望だった」と述べているか、読み取る。 6 「物語」に対する筆者の考え方の変化を整理する。 7 「物語」に対する自分の考えをまとめる。 ・一人1台端末の活用</p>				<p>【知技】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を深めている。 【主】 進んで『雨月物語』が筆者に与えた影響を読み取り、今までの学習を生かして「物語」についての自分の考えをまとめようとしている。</p>					5
<p>B 単元 小説「恋」</p> <p>【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<p>・場面や登場人物の設定における特徴を捉え、作中の「短編小説」が象徴するものについて考える。</p> <p>1 「短編小説」の語り内容と「僕」との関係に注目しながら、本文を通読する。 2 「短編小説」が言った「小説ってのは小さな『恋』なんだですよ。」とは、どのようなことを表しているか読み取る。 3 それを聞いた「僕」は何を考えたかを読み取る。 4 「ね、人は誰でも、ページ数を知らないような、一編の小説なんですよ。」とは、どのようなことを表しているか読み取る。 5 意から外の風景を見ている「僕」の心情を読み取る。 ・一人1台端末の活用</p>				<p>【知技】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 【主】 粘り強く「短編小説」が象徴するもの理解し、学習課題に沿って自分自身の記憶の風景を思い出して文章を書こうとしている。</p>					5
<p>定期考査</p>										1
<p>C 単元 小説「山月記」</p> <p>【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<p>・登場人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について考える。</p> <p>1 作者について予備知識を持ったうえで、現代社会のあるいは自分が置かれた状況と同じ点、違う点について考える。 2 あらかじめ調べてきた語句の意味を確認し、漢文調を生かした語句の意味を明らかにする。 3 「語り」の変化を手がかりに、本文をいくつかの場面に分け、それぞれの要点をまとめる。 4 第一人称に語られた李徴の性格について発表する。 5 李徴がどのような経緯をたどって虎になつたかをまとめる。 6 虎となった李徴の心情を考える。 7 李徴の心情、生き方を探る。 8 李徴は自らの時をどのような理由から哀憐に伝え、表現は自らの作品をどのように感じたか、考える。 ・一人1台端末の活用</p>				<p>【知技】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解している。 ・文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係性を踏まえ、作品の解釈を深めている。 【主】 粘り強く登場人物の心情を把握し、学習課題に沿って主人公の内面と苦悩を理解して、その生き方について考え、話し合おうとしている。</p>					12

高等学校 令和 8

国語 科目 論理国語

教科：国語 科目：論理国語

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（ 1組：田畑 ）（ 2組：田畑 ）（ 3組：田畑 ）（ 4組：田畑 ）（ 5組：田畑 ）（ 6組：角 ）（ 6組：角 ）

使用教科書：（ 新編論理国語

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数	
			話・聞	書	読	読						
1 学 期	A「世界をつくり替えるために」 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	世界を作り替えるための学びについて考える。		○	○	○			○	○	○	8
	定期考査							○	○		1	
	B「対話とは何か」 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	「対話」と「おしゃべり」を対比させながら「対話」という言語活動について理解を深める。		○	○	○			○	○	○	15
定期考査								○	○		1	
2 学 期	C「弱肉強食は自然の摂理か」 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	生態系の実態を科学的に読み解き、固定観念を疑う力をつける。		○	○	○			○	○	○	12
	定期考査							○	○		1	

	D「最初のペンギン」 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	不確実な状況下で勇気を持って新しいことに挑戦する意義について考える。	○	○	○	○	○	○	14
	定期考査								1
3 学 期	E「日本人の美意識」 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	図を適切に参照して本文中の対比を捉え、日本と西欧の美意識の違いを理解する。	○	○	○	○	○	○	16
	定期考査								1
									合計
									70

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 国語 科目 古典探究

教科：国語 科目：古典探究

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～7組

教科担当者：（1組：田畑・若菜）（2組：坂元・田畑・若菜）（3組：坂元・田畑・若菜）（4組：坂元・田畑・若菜）
 （5組：坂元・田畑・若菜）（6組：若菜）（7組：若菜）

使用教科書：（『新編古典探究』東京書籍）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

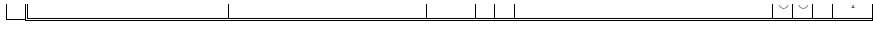
【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 古典探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話	書	読					
A 古文 十訓抄 大江山の歌 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	1 本文を正しく音読する。 2 脚注を参考にしながら本文を現代語訳する。 3 「大江山」の歌の修辞や詠まれた背景を理解する。 4 文語動詞の活用を復習する。	○	○	【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容的に捉えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 【主】進んで人物や地名を手掛かりに語彙を読み取り、学習課題に沿って和歌の意味や展開のおもしろさを捉えようとしている。	○	○	○	8	
					定期考査				
B 古文 徒然草 九月二十日のころ 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	1 本文を正しく音読する。 2 脚注を参考にしながら本文を現代語訳する。 3 筆者の美意識を理解する。 4 文語の形容詞・形容動詞の活用について理解する。	○	○	【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容的に捉えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 【主】進んで随筆を読み取り、学習課題に沿って筆者の心情を捉えようとしている。	○	○	○	8	
					定期考査				
C 漢文 故事と小話 断腸 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	1 本文を正しく音読する。 2 脚注を参考にしながら本文を書き下し、現代語訳する。 3 相公が「猿ノ子」を得た者を罷免した理由を考える。 4 「断腸」という故事成語の意味や使い方を辞書で確認する。	○	○	【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容的に捉えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・「読むこと」において、関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主】進んで漢文の読み方を確認し、学習課題に沿って、故事成語の成り立ちとその意義や、漢文の受容について考えようとしている。	○	○	○	7	
					定期考査				



<p>学Ⅱ 古文 土佐日記 馬のはなむけ</p> <p>【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようになる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わり合うとする態度を養う。</p>	<p>1 当時の月日や時刻の呼び方について知る。</p> <p>2 この章段に書かれている旅立ちの事情を読み取る。</p> <p>3 簡化表現、機知を感じさせる表現を指摘し、この作品の特色を表現する。</p> <p>4 冒頭の一文から、作者がどのような日記を書こうとしているのかを考える。</p>	<p>○</p> <p>○</p>	<p>【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</p> <p>・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</p> <p>・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。</p> <p>・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</p> <p>・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</p> <p>【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</p> <p>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容的に捉えている。</p> <p>・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</p> <p>・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を読みながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。</p> <p>・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>【主】 進んで作品の表現や形式の特徴について理解し、学習課題に沿って作者の心情を読み取ろうとしている。</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>8</p>
<p>E 漢文 唐詩と文</p> <p>【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようになる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わり合うとする態度を養う。</p>	<p>1 それぞれの作者について理解する。</p> <p>2 詩を声に出して読む。</p> <p>3 それぞれの詩の内容を捉える。</p> <p>4 唐詩の詩形、押韻、対句の表現について考える。</p> <p>5 正確な現代語訳をする。</p> <p>6 繰り返し朗読して唐詩の調べを理解し、暗唱する。</p> <p>7 訳詩を試みる。</p>	<p>○</p> <p>○</p>	<p>【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</p> <p>・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。</p> <p>・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</p> <p>・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。</p> <p>【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</p> <p>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容的に捉えている。</p> <p>・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を読みながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。</p> <p>・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>【主】 進んでさまざまな唐詩を読み味わい、学習課題に沿って、言語感覚や想像力を豊かにしようとしている。</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>8</p>
<p>定期考査</p>				<p>○</p> <p>○</p> <p>1</p>
<p>F 漢文 史記 四面楚歌</p> <p>【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようになる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わり合うとする態度を養う。</p>	<p>1 本文を繰り返し音読し、書き下し文にする。</p> <p>2 正しい訓読をもとに語彙を調べ、正確に現代語訳する。</p> <p>3 文脈に即して、内容や登場人物について理解する。</p>	<p>○</p>	<p>【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</p> <p>・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。</p> <p>・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。</p> <p>【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</p> <p>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容的に捉えている。</p> <p>・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</p> <p>・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>【主】 進んで登場人物の行動や心情、起こった出来事などを捉え、学習課題に沿って感じたことを話し合おうとしている。</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>11</p>
<p>定期考査</p>				<p>○</p> <p>○</p> <p>1</p>
<p>G 古文 竹取物語 天の羽衣</p> <p>【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようになる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わり合うとする態度を養う。</p>	<p>1 竹取物語について、文学史的知識や文体の特徴について理解する。</p> <p>2 本文を正しく音読する。</p> <p>3 脚注を参考にしながら、本文を現代語訳する。</p> <p>4 本文に即して登場人物の言動や、心情を理解する。</p>	<p>○</p> <p>○</p>	<p>【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</p> <p>・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。</p> <p>・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。</p> <p>【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</p> <p>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容的に捉えている。</p> <p>・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</p> <p>・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>【主】 進んで登場人物の行動や心情、起こった出来事などを捉え、学習課題に沿って感じたことを話し合おうとしている。</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>15</p>
<p>定期考査</p>				<p>○</p> <p>○</p> <p>1</p>
				<p>○</p> <p>○</p> <p>合計</p> <p>70</p>

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 地理歴史科 科目 歴史総合

教科： 地理歴史科 科目： 歴史総合

単位数： 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： (1組：小黒) (2組：森川) (3組：森川) (4組：森川) (5組：森吉) (6組：森吉) (7組：森吉)

使用教科書： ()

教科 地理歴史科 の目標：

- 【知識及び技能】 歴史的な転換点の因果について理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 歴史的事象の意義、及びその特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したりそれらを基に議論したりしている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 現代の諸課題について、歴史的事象を踏まえ、より良い社会の実現を視野に主体的に解決しようとしている。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代世界の持つ重要な要素としての「大衆化社会」、「グローバル化社会」が、さまざまな国際秩序の変化に基づいて生じていることについて理解しているとともに、諸史料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身に付けている。	歴史的事象の意味や意義、特色や相互の関連を、地形的関係、社会体制、人間と自然環境との相互関係、相互依存作用などに着目しつつ活用し、多角的、多面的に考察したり、現代の諸課題の解決に向けて構想、考察したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。	歴史的事象を踏まえ、より良い社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的に考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、及び世界と結びつく国際人としての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
欧米諸国における近代化 【知識及び技能】 市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯について、資料を読み取り、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現代社会との関わりを考察し、みずからの言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 市民革命や産業革命が、現代社会に与えた影響と課題について、追究しようとしている。	・指導事項 ①イギリスの革命とアメリカの独立 ②フランス革命の影響と国民意識の芽生え ③産業革命で変わる社会 ④イギリスの繁栄と国際分業体制 ・教材 教科書、副教材、ワークシート、ICT端末	欧米諸国における近代化 【知識・技能】 市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現代社会との関わりを考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 市民革命や産業革命が、現代社会に与えた影響と課題について、追究しようとしている。	○	○	○	5
近代化の進展と国民国家形成 【知識及び技能】 国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況について資料を読み取り、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、みずからの言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 国民国家や帝国主義政策が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	・指導事項 ①1848年～近代ヨーロッパの転換点 ②イタリア・ドイツの統一とロシアの近代化 ③アメリカの拡大と第二次産業革命 ④帝国主義と世界の一体化 ・教材 教科書、副教材、ワークシート、ICT端末	近代化の進展と国民国家形成 【知識・技能】 国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況について資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国民国家や帝国主義政策が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	8
定期考査			○	○	○	1
アジア諸国の動揺と日本の開国 【知識及び技能】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「西洋の衝撃」の歴史的意義について、アジア諸国の変容を比較したり関連付けたりして考察し、みずからの言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	・指導事項 ①「西洋の衝撃」と西アジアの変化 ②南・東南アジアの植民地化 ③ヨーロッパの日本接近とアヘン戦争 ④黒船の来航と日本の対応 ⑤新体制の模索と江戸幕府の滅亡 ・教材 教科書、副教材、ワークシート、ICT端末	アジア諸国の動揺と日本の開国 【知識・技能】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 「西洋の衝撃」の歴史的意義について、アジア諸国の変容を比較したり関連付けたりして考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	8
近代化が進む日本と東アジア 【知識及び技能】 明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 明治維新の歴史的意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、みずからの言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	・指導事項 ①新政府の誕生 ②近代国家を目指す日本 ③日本と芯の近代化と日清戦争 ④列強の中国進出と日露戦争 ⑤日露戦争が与えた影響 ・教材 教科書、副教材、ワークシート、ICT端末	近代化が進む日本と東アジア 【知識・技能】 明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 明治維新の歴史的意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	8
定期考査			○	○	○	1

]

|

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅱ

教科： 芸術 科目： 音楽Ⅱ 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 7 組
 教科担当者： 保坂 悠紀
 使用教科書： （ 高校生の音楽2 （教育芸術社） ）
 教科 芸術 音楽 の目標：

- 【知識及び技能】 創意工夫等を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作、などで表現することができる。
 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性等について理解する。
- 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】 音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協動的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組むことができる。

科目 音楽Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
創意工夫等を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作、などで表現することができる。 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性等について理解を深める。	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。	主体的・協動的に音楽の諸活動に取り組み、音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		歌	器	創						
1 学 期	A 斉唱「校歌」「糸」 【知識及び技能】 ①創意工夫等を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作、などで表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音色や旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 ①正しい発声方法を身に付けて表現を創意工夫することに関心を持ち、主体的・協動的に取り組む。	・発声練習 ・歌唱「校歌」 ・歌詞の内容と表現「校歌」 ・歌唱「糸」 ・歌詞の内容と表現「糸」	○		○	【知識・技能】 ①創意工夫等を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作、などで表現している。 【思考・判断・表現】 ①音色や旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①正しい発声方法を身に付けて表現を創意工夫することに関心を持ち、主体的・協動的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	B 器楽「Stand by me」（ギター） 【知識及び技能】 ①音符と休符の意味を理解する。 ②器楽合奏するために必要な、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音色、リズム、テクスチャを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 ①音色の工夫やリズムパターンの変化と曲想との関りに関心を持ち、主体的・協動的に器楽の学習活動に取り組む。	・ギターの構造 ・ギターの基本的な奏法 ・ポジション表 ・G, Em, C, D7の練習 ・ストロークの練習 ・「Stand by me」練習 ・実技テスト		○	○	○	【知識・技能】 ①音符と休符、音楽用語・記号の意味を理解できている。 ②器楽合奏するために必要な、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ①リズム、テクスチャを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもつことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①音色の工夫やリズムパターンの変化と曲想との関りに関心を持ち、主体的・協動的に器楽の学習に取り組んでいる。	○	○	○
B ピアノ	・ピアノの基本的な奏法 ・音階練習 ・指の練習 ・「喜びの歌」練習 ・「メヌエット」練習 ・実技テスト		○		○	【知識・技能】 ①ピアノの奏法について理解している。 ②創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法等の技能を身に付け、器楽で表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音色、リズム、旋律、強弱等を知覚し、それらの働きを感受しながら、どのように表現するかについて表現意図をもち、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①ピアノやピアノ音楽に関心を持ち、主体的協動的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	20

2 学 期	<p>A 鑑賞「ウエストサイドストーリー」 歌唱「Tonight」 【知識及び技能】 ①ミュージカルについての知識を学び、その歴史や特徴を理解する。 ②音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、及び様々な歌唱表現や器楽表現の特徴について理解している。 ③創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、発声、言葉の発音、身体の使い方等の技能を身に付け、表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音楽と映像の結びつきや、音楽によって映画の場面や登場人物の心情がどのように表現されているかについて考えながら、ミュージカルの魅力を味わう。 ②音色、リズム、テクスチャを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことや感受したことを考える。 ③曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聴く。 ④どのように演奏するのかについて、表現意図をもち、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ①「ウエスト サイド ストーリー」に描かれている社会問題や登場人物の心情に関心をもつ。 ②主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ミュージカルの歴史 ・ミュージカルの特徴 ・ミュージカルの代表作 ・「ウエスト サイド ストーリー」の時代背景と社会問題 ・鑑賞「ウエストサイドストーリー」 ・歌唱「Tonight」 ・英語の読み ・英語の意味 ・発声練習 ・歌唱練習 ・音楽用語（表現・強弱等） ・歌唱テスト 	○	○	<p>【知識・技能】 ①ミュージカルについての知識を学び、その歴史や特徴を理解している。 ②音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、及び様々な歌唱表現や器楽表現の特徴について理解している。 ③創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、発声、言葉の発音、身体の使い方等の技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ①音楽と映像の結びつきや、音楽によって映画の場面や登場人物の心情がどのように表現されているかについて考えながら、ミュージカルの魅力を味わっている。 ②音色、リズム、テクスチャを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことや感受したことを考えている。 ③曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聴いている。 ④どのように演奏するのかについて、表現意図をもち、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①「ウエスト サイド ストーリー」に描かれている社会問題や登場人物の心情に関心をもっている。 ②主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	12
	<p>A ミュージックベル 【知識及び技能】 ①ミュージックベルの構造や奏法について理解することができる。 ②創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法等の技能を身に付け、器楽で表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音色、リズム、旋律、強弱等を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように表現するかについて表現意図をもち、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①ミュージックベルやミュージックベル音楽に関心をもち、主体的協働的に取り組む。 ②アンサンブルの演奏をすることに関心をもち、主体的・協働的に器楽の活動に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ミュージックベルの基本的な奏法 ・英語音名、イタリア語音名 ・グループ決め、担当決め ・ミュージックベル用楽譜作り ・グループ練習 ・グループ発表・鑑賞 	○	○	<p>【知識及び技能】 ①ミュージックベルの構造や奏法について理解している。 ②創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法等の技能を身に付け、器楽で表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音色、リズム、旋律、強弱等を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように表現するかについて表現意図をもち、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①ミュージックベルやミュージックベル音楽に関心をもち、主体的協働的に取り組もうとしている。 ②アンサンブルの演奏をすることに関心をもち、主体的・協働的に器楽の活動に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	8
3 学 期	<p>B 合唱 【知識及び技能】 ①曲想や歌詞の内容や表現上の効果の関りについて、及び様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解する。 ②創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方等の技能を身に付け、歌唱で表す。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音色・旋律・テクスチャを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考える。 ②どのように歌うかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 ①正しい発声方法を身に付けて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。 ②歌詞の内容と作詞者・作曲者の思いに関心をもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発声練習 ・参考音源鑑賞 ・各パート音取り ・パート練習 ・合唱 ・歌詞の意味 ・表現の工夫 	○	○	<p>【知識・技能】 ①曲想や歌詞の内容や表現上の効果の関りについて、及び様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。 ②創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方等の技能を身に付け、歌唱で表すことができる。 【思考・判断・表現】 ①音色・旋律・テクスチャを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考えている。 ②どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①正しい発声方法を身に付けて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 ②歌詞の内容と作詞者・作曲者の思いに関心をもっている。</p>	○	○	○	10

<p>Lesson 5 Design For Connecting Society: Braille Neue</p> <p>【知識・技能】 助動詞+受け身, S+V+C [分詞], S+V+O [if節], It seems [appears]+that節を用いた文の形・意味・用法を理解する。</p> <p>ブレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性について、また、ブレイルノイエの利点と活用方法について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 ブレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性について、また、ブレイルノイエの利点と活用方法について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える。</p> <p>【主体的】 ブレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性について、また、ブレイルノイエの利点と活用方法について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>【題材内容】</p> <p>ユニバーサルデザインのフォント、ブレイルノイエとその開発者の高橋浩介氏へのインタビューについての雑誌記事</p> <p>【言語材料】</p> <p>助動詞+受け身, S+V+C [分詞], S+V+O [if節], It seems [appears]+that節</p> <p>【言語の働き】</p> <p>質問する, 説明する, 例示する, 提案する, 発表する</p> <p>・教材</p> <p>Power On English Communication II WORKBOOK II</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>【知識・技能】 助動詞+受け身, S+V+C [分詞], S+V+O [if節], It seems [appears]+that節を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>ブレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性について、また、ブレイルノイエの利点と活用方法について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ブレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性について、また、ブレイルノイエの利点と活用方法について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。</p> <p>【主体的】 ブレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性について、また、ブレイルノイエの利点と活用方法について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>10</p>
<p>Lesson 6 New Banknotes</p> <p>【知識・技能】 It+is [was]+said+that節, 形式目的語itとthat節, 形式目的語itとto不定詞, 助動詞+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。</p> <p>新紙幣とキャッシュレス社会について、また、キャッシュレス社会の長所・短所について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 新紙幣とキャッシュレス社会の長所・短所について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える。</p> <p>【主体的】 新紙幣とキャッシュレス社会について、また、キャッシュレス社会の長所・短所について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>【題材内容】</p> <p>2024年に新しく発行される紙幣にまつわる話やキャッシュレス化についてのオンライン記事</p> <p>【言語材料】</p> <p>It+is [was]+said+that節, 形式目的語itとthat節, 形式目的語itとto不定詞, 助動詞+have+過去分詞</p> <p>【言語の働き】</p> <p>説明する, 意見を述べる, 賛成する, 反対する, 理由を述べる, 発表する, 質問する</p> <p>・教材</p> <p>Power On English Communication II WORKBOOK II</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>【知識・技能】 It+is [was]+said+that節, 形式目的語itとthat節, 形式目的語itとto不定詞, 助動詞+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>新紙幣とキャッシュレス社会について、また、キャッシュレス社会の長所・短所について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 新紙幣とキャッシュレス社会について、また、キャッシュレス社会の長所・短所について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。</p> <p>【主体的】 新紙幣とキャッシュレス社会について、また、キャッシュレス社会の長所・短所について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>10</p>
<p>定期考査</p>				<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>1</p>
<p>Lesson 7 Some Secrets about Colors</p> <p>【知識・技能】 関係代名詞(所有格), 同格を表す接続詞that, 前置詞+関係代名詞, 関係副詞whereの非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解する。</p> <p>色の心理的効果について、また、色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 色の心理的効果について、また、色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える。</p> <p>【主体的】 色の心理的効果について、また、色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>【題材内容】</p> <p>色が私たちに与える影響や色のもつ心理的効果についての論説文</p> <p>【言語材料】</p> <p>関係代名詞(所有格), 同格を表す接続詞that, 前置詞+関係代名詞, 関係副詞whereの非制限用法</p> <p>【言語の働き】</p> <p>説明する, 提案する, 理由を述べる, 意見を述べる, 質問する</p> <p>・教材</p> <p>Power On English Communication II WORKBOOK II</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>【知識・技能】 関係代名詞(所有格), 同格を表す接続詞that, 前置詞+関係代名詞, 関係副詞whereの非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>色の心理的効果について、また、色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 色の心理的効果について、また、色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。</p> <p>【主体的】 色の心理的効果について、また、色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>10</p>
<p>Lesson 8 Powdered Natto Solves a Global Water Problem</p> <p>【知識・技能】 強調構文, 強調の助動詞do, 直前の文を先行詞とする関係代名詞which, to+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。</p> <p>納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化するしくみや、発展途上国への影響について、また、納豆パウダーという製品の利点などについて、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化するしくみや、発展途上国への影響について、また、納豆パウダーという製品の利点などについて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える。</p> <p>【主体的】 納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化するしくみや、発展途上国への影響について、また、納豆パウダーという製品の利点などについて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>【題材内容】</p> <p>小田兼利博士が開発した納豆パウダーの誕生秘話と世界へ広がる様子についての論説文</p> <p>【言語材料】</p> <p>強調構文, 強調の助動詞do, 直前の文を先行詞とする関係代名詞which, to+have+過去分詞</p> <p>【言語の働き】</p> <p>説明する, 紹介する, 描写する, 注意をひく, 勧める</p> <p>・教材</p> <p>Power On English Communication II WORKBOOK II</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>【知識・技能】 強調構文, 強調の助動詞do, 直前の文を先行詞とする関係代名詞which, to+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化するしくみや、発展途上国への影響について、また、納豆パウダーという製品の利点などについて、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化するしくみや、発展途上国への影響について、また、納豆パウダーという製品の利点などについて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。</p> <p>【主体的】 納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化するしくみや、発展途上国への影響について、また、納豆パウダーという製品の利点などについて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>10</p>
<p>定期考査</p>				<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>1</p>

<p>Lesson 9 Flying after Her Dreams</p> <p>【知識・技能】 譲歩を表す副詞節, no matter how [where, when] (※要修正反映), 仮定法過去完了, 分詞構文 (過去分詞) を用いた文の形・意味・用法を理解する。</p> <p>黒人女性初のパイロットであるベシー・コールマンの経歴や人物像や夢について, また, 1900年頃のアメリカにおける女性の専門職の就労について, 多様な語句や文を用いて, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 黒人女性初のパイロットであるベシー・コールマンの経歴や人物像や夢について, また, 1900年頃のアメリカにおける女性の専門職の就労について, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える。</p> <p>【主体的】 黒人女性初のパイロットであるベシー・コールマンの経歴や人物像や夢について, また, 1900年頃のアメリカにおける女性の専門職の就労について, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>【題材内容】 アメリカで黒人女性初のパイロットとなったベシー・コールマンの伝記</p> <p>【言語材料】 譲歩を表す副詞節, no matter how [where, when] (※要修正反映), 仮定法過去完了, 分詞構文 (過去分詞)</p> <p>【言語の働き】 質問する, 説明する, 理由を述べる</p> <p>・教材 Power On English Communication II WORKBOOK II</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	○	○	○	○	<p>【知識・技能】 譲歩を表す副詞節, no matter how [where, when] (※要修正反映), 仮定法過去完了, 分詞構文 (過去分詞) を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>黒人女性初のパイロットであるベシー・コールマンの経歴や人物像や夢について, また, 1900年頃のアメリカにおける女性の専門職の就労について, 多様な語句や文を用いて, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 黒人女性初のパイロットであるベシー・コールマンの経歴や人物像や夢について, また, 1900年頃のアメリカにおける女性の専門職の就労について, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える。</p> <p>【主体的】 黒人女性初のパイロットであるベシー・コールマンの経歴や人物像や夢について, また, 1900年頃のアメリカにおける女性の専門職の就労について, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	○	○	○	○	○	○	10
<p>Lesson 10 To Work or Not to Work?: Humans and Robots</p> <p>【知識・技能】 過去完了進行形, be+to不定詞, 未来完了形, insist など+that+S+V [動詞の原形] を用いた文の形・意味・用法を理解する。</p> <p>過去のロボットやロボットの労働内容の変化について, また, 自分が考案した生活に役立つロボットの形状や機能などについて, 多様な語句や文を用いて, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 各種のロボットやロボットの労働内容の変化について, また, 自分が考案した生活に役立つロボットの形状や機能などについて, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える。</p> <p>【主体的】 各種のロボットやロボットの労働内容の変化について, また, 自分が考案した生活に役立つロボットの形状や機能などについて, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>【題材内容】 日本が誇るロボットやロボットの労働などについての論説文</p> <p>【言語材料】 過去完了進行形, be+to不定詞, 未来完了形, insist など+that+S+V [動詞の原形]</p> <p>【言語の働き】 説明する, 発表する, 提案する, 予想する, 意見を述べる, 理由を述べる</p> <p>・教材 Power On English Communication II WORKBOOK II</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	○	○	○	○	<p>【知識・技能】 過去完了進行形, be+to不定詞, 未来完了形, insist など+that+S+V [動詞の原形] を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>各種のロボットやロボットの労働内容の変化について, また, 自分が考案した生活に役立つロボットの形状や機能などについて, 多様な語句や文を用いて, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 各種のロボットやロボットの労働内容の変化について, また, 自分が考案した生活に役立つロボットの形状や機能などについて, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える。</p> <p>【主体的】 各種のロボットやロボットの労働内容の変化について, また, 自分が考案した生活に役立つロボットの形状や機能などについて, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	○	○	○	○	○	○	10
<p>定期考査</p>		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	1

3
学
期

年間授業計画

高等学校 令和8年度

教科

家庭

科目 家庭基礎

教科： 家庭 科目： 家庭基礎

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組 ～ 7 組

教科担当者： (1～7組：小守・講師)

使用教科書： (教科書：CreativeLiving『家庭総合』で生活をつくろう 改訂版 大修館
副教材：生活ハンドブック 資料&成分表&ICT 第一学習社)

教科 家庭

の目標：

- 【知識及び技能】 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営む為に必要な基礎的知識の理解を深める共に、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域や社会での生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活や金融、環境などについて、生活を主体的に営む為に必要な基礎的知識の理解を深めると共に、それらに係る技能を身に付けるようにする。	生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域や社会での生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ●生活のマネジメント ●共生社会をつくる <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活と自分自身についてみつめ、自己理解を深める <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人の発達段階の特徴と発達課題を知り、青年期の発達課題を達成するための生き方について考える。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族のライフステージの特徴と生活課題を知り、現在および将来の生活への展望を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 第1章 (1) 生涯、発達し続ける (2) 意思決定を重ねてつくる人生 (3) どんな生き方をする？ 第6章 (1) 生活課題の乗り越え方 (2) みんなで支え合うしくみ (3) とともに生き、社会をつくる ・教材 教科書、資料集、学習ノート、パワーポイント (一人1台端末の活用) 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業労働や家事労働の意義や特徴、現状と課題について理解している (定期考査) <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフスタイルや生活に関わる価値観の多様化について考えている (ワークシート) <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人の一生を生涯発達の視点でとらえ、各ライフステージの特徴と課題、青年期の課題について考えようとしている (ワークシート・発表) 	○	○	○	6
	<ul style="list-style-type: none"> ●青年期の課題と自立 ●家族・家庭生活のマネジメント <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青年期は、自立した生活が営めるように、また、自己表現にむけて生きていくための準備をする時期であることを理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族関係のあり方について事例・演習等を通じて考える。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭の機能が家族員それぞれの協力によって成り立っていることを認識し、自らの家庭での役割を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 第2章 (1) 子どもからおとなへ (2) 自立の達成をめざそう 第3章 (1) 家族って何だろう (2) わかってくれて当然？ (3) 生活マネジメントの拠点 (4) 法律から見る家族・家庭 (5) ダイバーシティの実現をめざす ・教材 教科書、資料集、学習ノート、パワーポイント (一人1台端末の活用) 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族に関する法律を理解している。(定期考査) <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の家族のあり方・家庭の機能について自分の考えを表現している。(ワークシート) <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族・家庭に関する法律に関心を持ち、社会制度としての家族について考えようとしている。(ワークシート・発表) 	○	○	○	6
	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの生活と子育てのマネジメント <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人の命がこの世に誕生するまでの過程を知る。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもにとって良い環境について多角的な観点から論理的に考えることができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの誕生と母体の健康という生命の尊厳に触れることにより、自らの原点を見つめ直すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 第4章 (1) 子どもの世界を知る (2) 命の誕生 (3) こんにちは、赤ちゃん (4) 好奇心いっぱい！ (5) 子どものいる暮らし (6) 子どもの仕事は「遊び」 (7) 子どもの健康と事故 (8) 親になるということ (9) 社会で子育て ・教材 教科書、資料集、学習ノート、パワーポイント (一人1台端末の活用) 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達の特徴について理解している (定期考査) <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母体の健康管理や生命の尊さに関する諸課題について、青年期の過ごし方と関わらせて考える (ワークシート) <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長と発達について主体的に考え、実生活に活かそうとしている (ワークシート・発表) 	○	○	○	8
	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢期の生活のマネジメント <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生活課題を把握する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の心身の特徴を知り、高齢期の生活を充実させるための個人的・社会的方策を考える。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉の考え方について理解し高齢者にとって豊かな生活とは何かを実践しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 第5章 (1) 人生100年時代の高齢期 (2) 年をとると変わること (3) 高齢期の生活を支える (4) 介護を支える (5) これからの高齢社会 ・教材 教科書、資料集、学習ノート、パワーポイント (一人1台端末の活用) 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の心身の特徴の一般的变化について理解する (定期考査) <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生活の現状と課題について具体的に考えを深め、まとめたり、発表したりしている。(ワークシート・発表) <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会の現状や課題、高齢者の自立生活支援はどうあればよいのかなどについて考えようとしている。(ワークシート・発表) 	○	○	○	8

2 学期	<p>●食生活のマネジメント</p> <p>【知識及び技能】 ・食品の栄養的特質と調理性を理解し、食生活にいかせるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・各栄養素の種類と働きを理解し、食品を組み合わせる大切さを考える</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・各食品の特質やそれを生かした加工食品について知り、調理に生かせる力を養う。</p>	<p>・指導事項 第8章 (1) 食事の役割 (2) 食生活を見直す (3) 栄養バランスのよい食事 (4) 炭水化物の働きと食品の調理性 (5) 脂質の働きと食品の調理性 (6) たんぱく質の働きと食品の調理性 (7) 無機質の働きと食品の調理性 (8) ビタミンの働きと食品の調理性 (9) 加工食品について (10) 食品の選択と購入 (11) 食品を安全に取り扱う</p> <p>・教材 教科書、資料集、学習ノート、パワーポイント (一人1台端末の活用)</p>	<p>【知識・技能】 ・栄養素の種類と働き、栄養素等摂取の基準や食品群別摂取量の目安を理解している。(定期考査・実習)</p> <p>【思考・判断・表現】 ・家族や自分の食生活について、栄養や健康と関わらせて考えようとしている。(ワークシート)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・配膳や食事のマナーについて理解し、工夫することができる。(ワークシート・実習)</p>	○	○	○	12
	<p>●衣生活のマネジメント</p> <p>【知識及び技能】 ・被服材料に応じた洗濯や適切な衣生活の管理方法を理解する</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・手作りすることの楽しさや意義を考える</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・被服製作の工程と留意点を理解し、日常生活に役立つ縫製に関する基本的な技能を習得しようとする</p>	<p>・指導事項 第10章 (1) 衣生活の現状と課題 (2) 被服の機能と快適性 (3) 被服材料と性能 (4) 被服と安全・衛生 (5) 被服の管理 (6) 資源としての被服</p> <p>・教材 教科書、資料集、学習ノート、パワーポイント (一人1台端末の活用)</p>	<p>【知識・技能】 ・用途や着用目的に合った被服材料の選択や被服材料に応じた洗濯、仕上げ、保管等ができる。(定期考査・実習)</p> <p>【思考・判断・表現】 ・被服材料に応じた洗濯や適切な衣生活の管理について考えることができる。(ワークシート)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・被服構成や縫製技術の特徴に関心を持ち、被服製作に取り組んでみる。(ワークシート・実習)</p>	○	○	○	12
3 学期	<p>●経済生活のマネジメント</p> <p>【知識及び技能】 ・家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計管理について理解しようとする</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について、ライフステージや社会保障制度と関連付けて考察しようとする</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について考察し、工夫しようとする</p>	<p>・指導事項 第8章 (1) 生活を営むためのお金 (2) 経済のしくみを知ろう (3) お金と上手につきあう術 (4) 18歳で変わる消費生活 (5) 進むキャッシュレス社会 (6) 「お金を借りる」ということ (7) 消費者トラブルの今 (8) 消費者の自立を支援する (9) 情報社会を生きる (10) 私たちが社会を動かす</p> <p>・教材 教科書、資料集、学習ノート、パワーポイント (一人1台端末の活用)</p>	<p>【知識・技能】 ・リスク管理も踏まえた家計管理について理解することができる。(定期考査)</p> <p>【思考・判断・表現】 ・各ライフステージの特徴と課題等と関連付けながら障害の賃金や働き方について考えることができる。(ワークシート)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・自立した消費者として、環境や社会への影響を意識した責任ある消費行動を意識して取り組んでいる。(ワークシート・発表)</p>	○	○	○	10
	<p>●安全で快適な住生活をつくらう</p> <p>【知識及び技能】 ・住まいの役割や重要性を理解する</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・住まいや住生活の変化とその要因を知ることを通して、現代の住まいや住生活について考える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・住まいの平面図の基礎的知識を学び、要求に合った住まいであるかを平面図から読み取り、住空間づくりができるようになる。</p>	<p>・指導事項 第9章 (1) なぜ住まうのか (2) 住生活の成り立ちと住文化 (3) ライフスタイルと住まいの関係</p>	<p>【知識・技能】 ・生活行為と住空間とのかかわり、動作に必要な広さ、家具の配置や動線などについて理解している。(定期考査・間取り作成)</p> <p>【思考・判断・表現】 ・住生活の文化に関心を持ち、住まいの機能、人間と住まいとのかかわりについて考えようとしている。(ワークシート)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・家族構成、ライフステージ、生活にかかわる価値観などに応じた住空間の計画について検討しようとしている。(ワークシート・間取り作成・発表)</p>	○	○	○	8
学 年							合計
							70

篠崎 高等学校 令和8年度(2学年) 教科

総合的な探究の時間

教科: 総合的な探究の時間

単位数: 1 単位

対象学年組: 第2学年 1組~7組

教科担当者: (1組: 清水祐・田丸) (2組: 藤原・岩崎) (3組: 藤本・井上) (4組: 森川・鈴木) (5組: 若菜・小守) (6組: 若林・佐野) (7組: 吉川・佐藤)

使用教科書: ()

教科 総合的な探究の時間 の目標:

- 【知識及び技能】 各自の興味・関心に応じて見出した探究課題について、深く考えることを通して、社会貢献に関する道徳的価値について、理解を深める。
- 【思考力、判断力、表現力等】 各自の興味・関心に応じて見出した探究課題について、深く考えることを通して、社会貢献に関する道徳的価値を深め、主体的に人生を選択し、自己表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 各自の興味・関心に応じて見出した探究課題について、深く考えることを通して、問題解決や探究活動に主体的・創造的・協働的に取り組み、探求しようとする態度を養う。

科目 総合的な探究の時間 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各自の興味・関心に応じて見出した探究課題について、深く考えることを通して、社会貢献に関する道徳的価値について、理解を深める。	各自の興味・関心に応じて見出した探究課題について、深く考えることを通して、社会貢献に関する道徳的価値を深め、主体的に人生を選択し、自己表現する力を養う。	各自の興味・関心に応じて見出した探究課題について、深く考えることを通して、問題解決や探究活動に主体的・創造的・協働的に取り組み、探求しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> 各自テーマ設定を行い、探究課題について内容を精査する。 探究課題について確定させ、それをどう調査していくのか仮説と検証計画を立てる。 中間報告会による報告を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> オリエンテーションにより、年間授業計画の確認と、目標の確認を行う。 各自テーマ設定を行い、7~14の研究グループに分かれ、同じグループのメンバーとの協働を通じて見出した各自の課題について、その解決方法を考える。(課題設定と情報収集) 	年間を通じて <ul style="list-style-type: none"> 目標に照らし、十分な意欲をもって活動したかという観点に基づいて評価を行う。 生徒の形成的評価をふまえ、指導に関わった教員の評価を集約し、総合的に評価をする。 	○	○	○	12
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> 探究課題について、調査し、仮説検証を行う。 調査内容を整理・分析し、考察する。 中間報告会による報告を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 夏季休業を活用し、課題解決のための情報収集等を行う。(情報収集) 調べた内容を整理・分析し、考察していく。(整理・分析) 	年間を通じて <ul style="list-style-type: none"> 目標に照らし、十分な意欲をもって活動したかという観点に基づいて評価を行う。 生徒の形成的評価をふまえ、指導に関わった教員の評価を集約し、総合的に評価をする 	○	○	○	13
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> 成果発表会に向け、各自の探究テーマについて、レポートを完成させる。(まとめ) 自分は社会のために何をすべきか、アクションプランを考える。 成果発表会により、1年間の学習成果を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各自の探究テーマについて、レポートを完成させる。(まとめ) 自分は社会のために何をすべきか、アクションプランを考える。(まとめ) 1年間の学習成果を発表する。 	年間を通じて <ul style="list-style-type: none"> 目標に照らし、十分な意欲をもって活動したかという観点に基づいて評価を行う。 生徒の形成的評価をふまえ、指導に関わった教員の評価を集約し、総合的に評価をする 	○	○	○	10
合計							35